

『VIEW next』高校版・2024年度「発問・課題設定をキーに見る 主体的・対話的で深い学び 授業実践」授業デザインシート

【教科・科目】	理科・地学
【分野・単元】	火山
【テーマ・作品】	
【設定時数】	10時間
【単元の目標】	地元の活火山である鳥海山を、選んだテーマに基づいて説明する。

時数	学習内容	自校の生徒の特性を踏まえた各時間における教育目標 (身につけさせたい資質・能力)	左記の資質・能力の「学力の3要素」への分類	授業の大まかな流れ	授業における3つの視点の学びに対する指導内容・教師の配慮			育成を目指す資質・能力の評価方法
					主体的な学び	対話的な学び (教師による場づくりへの配慮)	深い学び (教師による思考の活性化・深化への配慮)	
1	・テーマ提示と切り口選び ・画像や動画を見て、問いを立てる	「誰かが気付けてくれるだろう」ではなく、自分自身で注目すべき点を見出せるか	判断力 主体性 協働性	単元全体のテーマの提示(今回は「鳥海山」) テーマの切り口を班ごとに選ぶ(今回は「岩石」「地形」「災害」「文化」) テーマに関連する画像・動画・実験を見せる →単元「火山」や選んだ切り口との関連性を班ごとに考え、最初の「とっかかり」を出す		「他者貢献が重要」ということを最初に説明 「わからないことをわからないと言う」ことも一種の他者貢献なので、とにかく関わっていくように促す	「同じテーマでも切り口によって違うものが見えてくる」「違う内容をまとめていても、実はつながっているというものも見えてくる」ということを伝える	
2								
3								
4								
5	班ごとにスライドの完成を目指す	「誰かがやってくれるだろう」ではなく、学習の進行に主体的にかかわることができるか  教科書・資料集・参考書・インターネット等から、適切な情報を選び取り、テーマの説明に生かすことができるか 関連して、複数の情報を適切に組み合わせてストーリー化できるか	知識 技能 思考力 判断力 表現力 主体性 多様性 協働性	「とっかかり」を起点にして、調べたり考えたりしつつ、班ごとにGoogleスライドを使って、選んだ切り口でテーマを説明するスライドを作成していく(Googleスライドで作成 補助としてFigmaを活用)。教員は班を巡回して様子を見取って記録すると同時に、生徒から出てきたワードを拾い、班としての学習が先に進むように支援・声掛けをする 全体に話したほうがいい内容が出てきた場合は、一旦活動を止めて講義をする(15分程度)	Googleスライド等に調べたリソースやそれに対して思ったこと、自身の変化を記録しておく →自己変容が見える形にして意欲を醸成	教科書的な正しさ(正確なコンテンツ)に関しては、この段階ではある程度間違いを許容する一調べたりした内容をベースに、自分たちなりのストーリーを組み立てられているかを重視する  それぞれの他者への貢献の仕方を考えるように促す  Googleスライド等に調べたリソースやそれに対して思ったこと、自身の変化を記録しておく (教師も教師の視点で記録する)	生徒が出してきたストーリーに対して、大筋から外れない範囲で話が広がるような発問をし、先へと促す	主体性の評価→記録された情報の量(生徒には「活動の証拠をきちんと記録すること」「記載がそのまま主体性評価の点数に直結すること」を説明)  他者貢献の評価→生徒自身の振り返り、教員のメモ等から判断  情報収集・ストーリー化の評価→振り返りに記載されたリソースやわかったこと、スライドの進捗を見る
6								
7								
8								
9								
10	発表	相手に伝わる発表ができるか 他班の発表を聞き、自分の班の内容と結びつけて理解できるか	表現力 主体性 協働性	完成したスライドで班ごとに発表を行う	質問・意見・感想をGoogleFormに入力して提出 →他者の発表を主体的に聞くように促す	質問・意見・感想をGoogleFormに入力して提出 →発表のフィードバックを共有	GoogleFormでフィードバックされた内容の原因を班ごとに考える(自己評価と他者評価の際の原因を考える)	スライドの内容、発表の様子、発表振り返りシートの記載を見て判断